学校番号	3009

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育科	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	『現代高等保健体育　改訂版』（大修館書店）						
副教材等	『現代高等保健体育ノート』（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会と健康、安全な社会生活について理解しよう。
・日常生活で直面する健康の課題を見つけ、その解決方法を考えよう。
・健康や安全についての社会的な取組みや個人の対応について理解し実践しよう。
・講義を中心に行い、単元によっては研究発表や実技授業、レポート提出があります。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代社会と健康、安全な社会生活について理解し生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
日常生活で直面する健康の課題を見つけ、その解決方法を考え、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】
健康や安全についての社会的な取組みや個人の対応について理解し実践しようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識や技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりをめざし、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	a:健康の様々な要因や影響、課題を理解する。その中で健康を保持増進する社会的な取組みや概念を理解する。 b:学習した内容だけでなく、データや資料を活用して分析し、健康の増進、疾病の予防・回復など、できる対策や課題を発見する。 c:健康の理解が疾病の早期発見、早期治療に役立つとともに、予防につながることを意識し取り組む。	定期考査 レポート ﾉｰﾄ提出	定期考査 授業観察 レポート ﾉｰﾄ提出	授業観察 レポート ﾉｰﾄ提出
		研究発表	a:グループまたは個人において、学習内容をより深く探究する。また、その学習を知識としてだけでなく実践できるようにする。 b:プレゼンテーションの方法を工夫し研究方法や研究結果、自らの考えなどを導きだす。また、発表を通じて他者に伝える力を養う。 c:研究についての取組み方をはじめ、生涯を通じての健康・安全への意識をもって取り組む。	レポート	授業観察 レポート	授業観察

後期	現代社会と健康	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	a:精神疾患や疾病構造、社会の変化などから、健康課題や健康の考え方を身に付ける。 また、予防や回復といった対処方法を身に付ける。 b:これまでに学習した内容（食事、運動、睡眠・休養など）を関連させ、調和のとれた生活を考え、自他の生活習慣や社会環境の対策を表現する。 c:心身の健康を保つために行動選択、意思決定を積極的に活用し実践する。	定期考査 レポート ﾉｰﾄ提出	定期考査 授業観察 レポート ﾉｰﾄ提出	 授業観察 レポート ﾉｰﾄ提出
	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	a:安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当の方法、心肺蘇生法の方法を適切に行える。 b:安全な社会生活について、事象や情報、知識から課題を発見し、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現する。 c:安全に関する資質を高め、自他や社会生活との関連をもって学習に取り組む。	定期考査 レポート ﾉｰﾄ提 出 実習課題	定期考査 授業観察 レポート ﾉｰﾄ提出	 授業観察 レポート ﾉｰﾄ提出
		研究発表	a:グループまたは個人において、学習内容をより深く探究する。また、その学習を知識としてだけでなく実践できるようにする。 b:プレゼンテーションの方法を工夫し研究方法や研究結果、自らの考えなどを導きだす。また、発表を通じて他者に伝える力を養う。 c:研究についての取組み方をはじめ、生涯を通じての健康・安全への意識をもって取り組む。	レポート	授業観察 レポート	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度